

まゆだま

2010. 9. 06 発行
No. 338



連絡先：高田（榎原小学校）
東京歴教協 八王子支部

～ 皆様、お久しぶりです。さて猛暑もようやく一息ついて、2学期が始まりました。夏の疲れも吹き飛び子ども達の歓声が聞こえながら、行事に向かう日々でしょうか。2学期も多くの皆さまの御参加をお待ちしております。～

6月の例会報告

6月例会は、支部会員の案内で見学会が行われました。今回は「環境問題を考えよう」という企画で、実際にリサイクルを事業化している「清和サービス」工場を訪れました。

6月26日（土）、10時少し回ったころ工場に着きました。社長さん自ら、私たち5人を迎えてくれました。説明も詳しく、質問にも丁寧に答えていただき、社長さんのこの事業に対する、並々ならぬ情熱を感じました。

一例として、カンのリサイクルについて説明と見学をさせてもらいました。見学会後象に残ったことは、機械化されているとは言っても、選別の工程で、人がやらなければならないところがあり、きつい臭いと単純作業の繰り返しは相当な重労働だと思いました。また、この工場の設置、運営に当たっては、騒音、臭い、ガスの問題などがあり、地域の理解無しでは運営が成り立ちません。社長さんが工場の見学などを積極的に受け入れ、理解してもらおうとする姿勢を強く感じました。

11時過ぎに、次の見学場所「多摩市唐木田エコセンター」に着きました。ここでは、「もう一度使って楽しむ」をねらいに、使った布をもとに、布ぞうり作りなどの「リサイクル講座」がいろいろ開かれています。参加者から、「参加してみたい」との声が聞こえました。中には、「エコだから」とその場でリサイクル機を購入した方もいました。（歴教協工口部会発足！！）



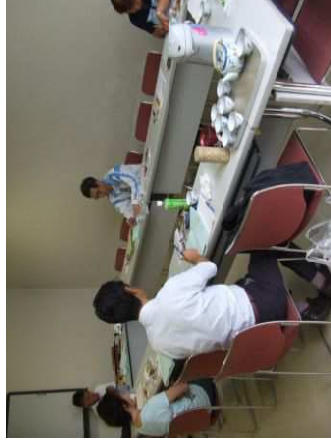
ここで時計の針は12時を過ぎました。夕食として近くのサンマルクで豪華なハーブコース・ランチをいただき、見学だけではない日常の会話がはずみました。こうやってちよとした憩いの時間も大切にすることが八王子支部（笑）

夕食を終えて14時頃ごろ、最後の見学地「都立埋蔵文化センター」を訪れました。とてもノンビリ見学でき、縄文時代について新しい発見！（廊下側に貝塚のレプリカがあり、分かりやすかったです。）もありました。観るもの・聴くもの・触るもの、と最近の博物館は展示だけではなくのびが特徴です。こうしてみんなすつかり縄文人になってしまいました。

今回の見学のために、現地に足を運び、何度も計画変更をしていただいた支部会員の樋口さん、本当に本当にご苦労様でした。環境問題を学習する上で、リサイクル工場見学の大切さが分かりました。（栗原 記）

7月の例会報告

2週続きの例会ということで、都合がうまくつかない方も多く、台町センターの集会所には集まりが少なかったのですが、それでもこの日は沖縄を学ぶというところで、落合先生に沖縄の歴史、授業での取り扱い、そして三線の実演までを一通りこなしてもらいました。クイズ形式の問題だったのですが、みんなが子ども役になりながら、「あ〜これだったから楽しいよね。」と沖縄について学んでいきました。三線演奏では拍手拍子も入り、一瞬その場が宴会場になった錯覚をおこした記録係でした。



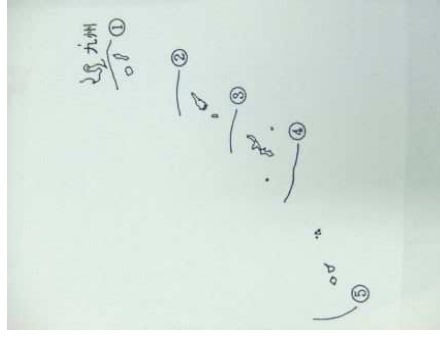
問1. 県境クイズ
沖縄県を地図で見ると、どこからどこまでの範囲でしょうか？次のうちから1つを選んで下さい。



独学で始めた沖縄学習。旅行好きの落合先生は何度も沖縄を訪ね、現地の人と仲良くなり、三線を引き始め、今に至りました。誰でも興味を持っていろいろなこと広がっていく、とこの素敵な報告でした。

- ア. ①～⑤
- イ. ②～④
- ウ. ③～⑤
- エ. ③～④
- オ. その他

こたえ



8月の会員の活動

支部会員は例会以外にも活動しています。もちろん現場の教師は毎日の校務や、ブロック研究会や教研集会などの報告や講演、また愛知で行われた全国大会での発表などがありますが、OB・OGになって、市民活動や教師教育にも携わっています。この夏は、8月に八王子の支部会員が学校や地域でも活躍していました。今回は、こちらのお二人の様子をお知らせ致します。

活動①: 私立学校教員研究会講師: 栗原 戦三さん

栗原さんは、退職後も公立の小学校や地域の催しで講演をされることが多くなりましたが、私立小学校へも出かけて講演・指導をしています。8月末には昭島市にある私立啓明学園初等学校の教員研究会に招かれました。私立小学校の悩みのタネは地域教材の掘り起こし。子どもも教師も地縁の無い私立小学校で、3年生の地域巡りをどう展開すればいいのか、教師が地域の特性をどう学ぶか、といったことを中心にお話をしてくださいます。

また、八王子城を教材にした紙芝居で戦国時代を楽しく学ぶということを考え、渾身の作品を創り上げました。初めて披露されたこの作品には、八王子の支部活動で培われた多くの力が注がれていました。先生方はただただ作品の出来映えの素晴らしさに呆然としていました。が、「栗原先生に地域の学び方を学ばせてもらった」と感動のコメントをする先生が多くいて、ここでも日頃の活動が役に立ちました。

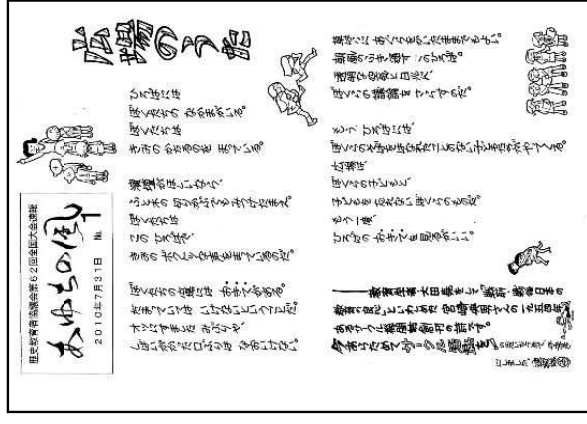


活動②: 日野教育フォーラム講演者: 西村 美智子さん

支部活動で支えられている教育実践は、時には市井の学びとして地域住民に感動を伝えることがあります。夏休み最後の日曜日。日野社会教育センターの招きで、教育フオーラムの講師として西村さんが登場しました。学校教育の可能性と地球時代を生きる学力について一般市民・学園関係者

・卒業生・保護者に語りかけるこの様子は、日野ケーブルテレビでも放映されました。ここでも日頃の活動が支えになりました。

○ 全国大会の様子
2010年愛知大会では、こんな内容の速報が第1号として発行されました。「ひろばには、ぼくたちは、きみのかたっている。ぼくたちは、きみのかたのをまっています」



この夏、新聞をにぎわせた児童虐待や超高齢者不在の社会問題も”つながり”が希薄になっている現代社会の病理とも言えましよう。それは教育の世界にも孤立化の波としてひたひたと近づいています。今、まさに私達を守っていないかしなければならぬ。広場とは、支部例会であり、支部活動であり、仲間との交流、むずびつき、そして「人と人とのつながり」です。

○ 支部会費納入について ○
ご存じの通り、歴教協八王子支部の活動は、大部分が皆様の会費で成り立っております。一時期、会費納入が滞り会の活動費がピンチになったこともありましたが、最近では皆さんの御協力もあって、年会費の振り込みが安定してきています。早々と納入していただいた方、過去5年分の未納をお支払い下さった方もいらっしゃいます。また、「未来の会員のために」と数年先までの分を払っていただいた方も・・・有り難き幸せ、とただただ感謝です。(と、会計からも深く感謝しておりますこのコメント) というわけで、会費がまだの方、過去の分が未納の方などはお早めに御協力下さい。今後とも歴教協八王子支部をよろしくお願い致します。



○ 9月の例会案内 ○ ～忙しい時期ではありませんが、ぜひ御参加下さいませ。～

9月例会「青梅の産業学習・地域に学ぶ」

講師：中河原先生（元青梅2小教諭・民間教育研究員）

日時：2010年9月18日（土）14:00～16:30

場所：浅川市民センター（JR高尾駅北口より徒歩8分）

2学期の始まりに、今後の授業をどう進めていくのかと悩んでいる方も多いと思います。9月の例会では、「生活科・社会科・総合」の学び方を勉強します。いつものように今回の例会でも、日々の授業のツボから教師の心得、子ども理解、保護者対応、管理職や同僚とのつき合い方まで幅広いアドバイスが受けられます。どうぞ、この貴重な機会をご利用ください。秋のはじめの高尾で一緒に学び、癒されませんか。お待ちしております。